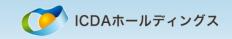
ICDAホールディングス株式会社

(東証二部・名証二部 3184)

International Conglomerate of Distribution for Automobile

2018年3月期 第2四半期決算説明会資料





2018年3月期 第2四半期決算概要

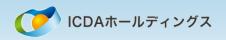
- ·新車販売台数 2,354台(前年同期比 5.4%增)
- •中古車販売台数 5,088台(前年同期比 15.2%增)
- ・物流システムの見直しにより、中古車販売台数が増加
- ・資源相場の回復により、自動車リサイクル事業が堅調に推移

グループ販売台数の推移

(単位:台)

	2017年3月期		2018年3月期		2018年3月期計画		
	上期	下期	累計	上期	前年比	累計	前年比
新車	2,234	2,676	4,910	2,354	▶ 5.4%增	5,500	▶12.0%增
中古車	4,418	4,719	9,137	5,088	▶15.2%增	10,000	夕.4%增

2018年3月期の市場環境の見通し



市場環境のトレンド

- ・足元の需要は堅調に推移、登録車での新モデル効果が寄与
- ・HV主導のエコカー普及は日本独自の姿として、当面は継続
- ・「燃費中心」から「安全性」への重視シフトの加速

市場環境の見通し

- ・家計は消費には慎重姿勢、消費意欲は低得層でなどで格差
- ・保有長期化傾向は継続
- ・鉄・アルミ等の資源価格相場は緩やかながら回復傾向
- ・日産、スバルにおける完成検査問題が懸念



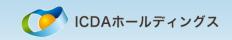
(単位:千台)

		2017年3月期]	2018年3月期		
	上期	下期	累計	上期	前年同期比	
国内新車販売台数	2,306	2,771	5,077	2,482	▶ 7.6%增	
国内中古車登録車台数	1,799	1,985	3,785	1,860	▶ 3.4%增	
輸入車新規登録台数	167	179	346	167	_	

日本自動車販売協会連合会及び日本自動車輸入組合資料より当社作成

国内新車販売台数の見通し

国内新車販売台数は、自販連の短期需要見通しで、 2018年3月期は510万台、 2019年3月期は505万台を見込む。



自動車販売関連事業

㈱ホンダ四輪販売三重北

- ■新車販売(ホンダ正規ディーラー)
- ■中古車販売・買取 (全メーカー)
- ■サービス

(株)オートモール

- ■新車販売
 - ポルシェ(正規ディーラー)
 - (正規ディーラー) Audi
 - (正規ディーラー) VW
- ■中古車販売・買取(全メーカー)
- ■サービス

自動車リサイクル事業

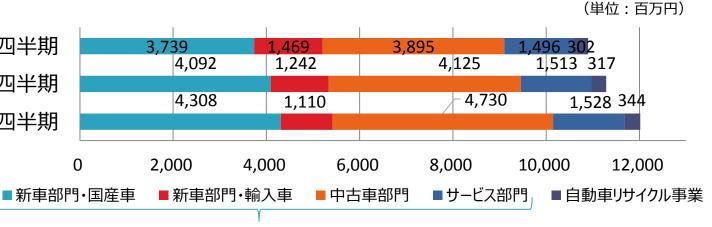
(株)マーク・コーポレーション

■鈴鹿オートリサイクルセンター

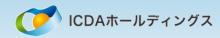


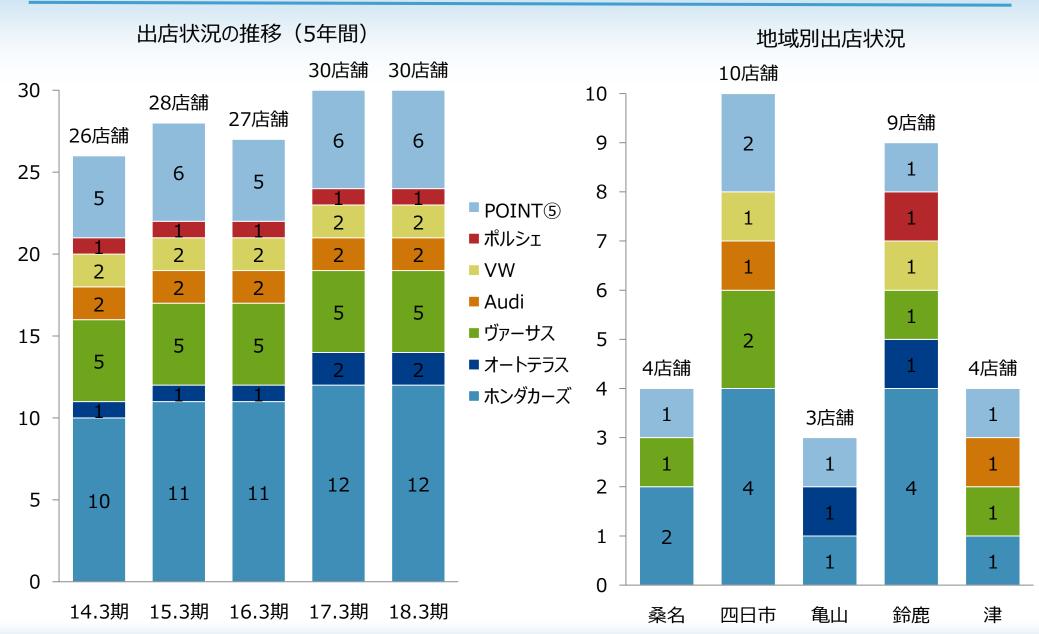
事業別売上高の前年同期比

2016年3月期 第2四半期 2017年3月期 第2四半期 2018年3月期 第2四半期

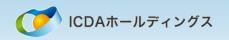


自動車販売関連事業





連結業績 前年同期比/通期計画 前年同期比 🕜 เCDA#-ルディングス

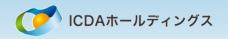


	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前年同期比(%)	2018年3月期 通期計画	前年同期比(%)
売上高	11,297	12,030	106.5	26,000	108.1
売上原価	9,255	9,874	106.7	21,376	108.3
売上総利益	2,042	2,156	105.6	4,623	106.9
販売管理費	1,792	1,906	106.3	3,884	102.9
営業利益	249	249	100.2	738	134.2
営業外損益	△10	△6	_	△38	_
経常利益	239	243	101.9	700	130.1
親会社株式 に帰属する四 半期純利益	157	156	98.9	470	134.0

事業別売上高 前年同期比/構成比



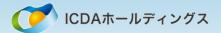
			2018年3月期 第2四半期	前期年同期 比(%)	構成比 (%)
	新車部門 (国産車)	4,092	4,308	105.3	35.8
自動車販売	新車部門 (輸入車) 1,242		1,110	89.4	9.2
関連事業	中古車部門	4,125	4,730	114.7	39.3
	サービス部門	1,513	1,528	101.0	12.7
	合 計		11,685	106.4	97.1
自動車リサイクル事業		317	344	108.5	2.9
合	合 計		12,030	106.5	100.0



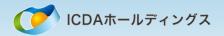
貸借対照表

	項目		2017.3期	2018.3期 第 2 四半期	増減
		現金及び預金	706	626	△80
	流 動	受取手形及び売 掛金	299	348	49
	資 産	商品及び製品	2,643	2,554	△89
資	/=	その他	293	277	△16
産 の	ž	流動資産合計	3,941	3,805	△136
部	固	有形固定資産	10,543	10,416	△127
	定	無形固定資産	57	57	0
	資 産	投資その他資産	968	986	△18
	固定資産合計		11,569	11,461	△108
	 資	産合計	15,511	15,266	△245

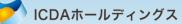
		項目	2017.3期	2018.3期 第2四半期	増減
		買掛金	1,605	1,575	△30
	流	短期借入金	4,441	4,654	213
	動負	未払法人税等	126	94	△32
	債	その他	1,434	1,414	△20
		流動負債合計	7,606	7,737	131
		長期借入金	2,419	1,966	△453
負	固	役員退職慰労引当金	282	270	△12
債	定負	退職給付に係る負債	672	690	18
· 純	債	その他	62	60	△2
資		固定負債合計	3,002	2,562	△440
産		負債合計	11,043	10,725	△318
の 部		資本金	1,161	1,161	0
սի		資本剰余金	1,148	1,148	0
	純	利益剰余金	2,045	2,097	52
	資	株主資本合計	4,355	4,406	51
	産	その他の包括利益累 計額合計	△17	△1	16
		非支配株主持分	128	135	7
	純 資 産 合 計		4,467	4,541	74
	· f	負債純資産合計	15,511	15,266	△245

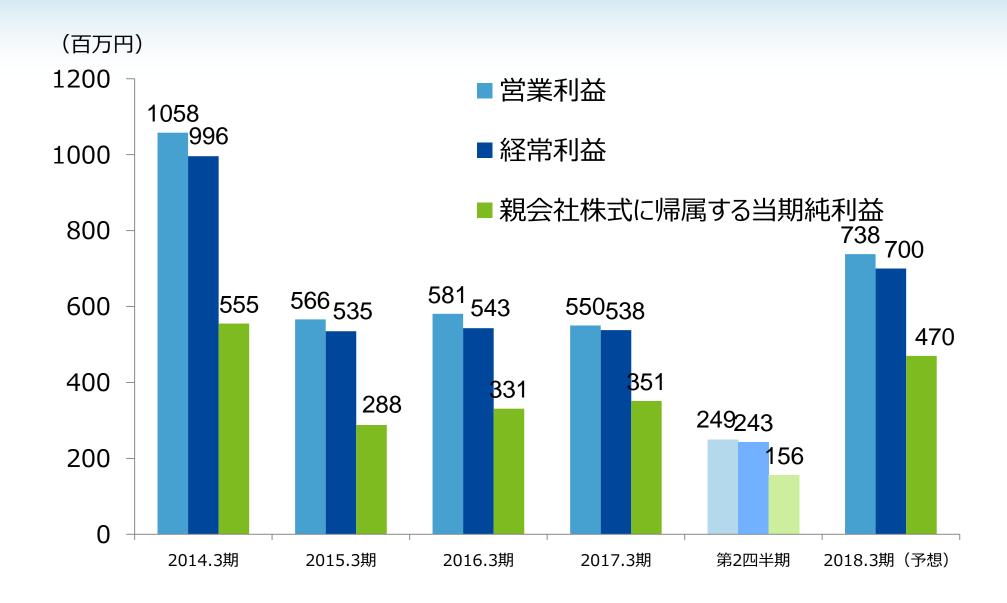


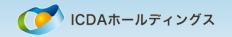
2018年3月期計画





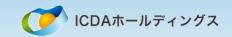






セグメント		2018年3月期の営業環境
	新車部門 (国産車)	新商品・モデルチェンジの投入が相次ぐ
自動車販売	新車部門 (輸入車)	一部メーカーの不正問題による影響が継続するが 回復傾向を見込む
関連事業	中古車部門	中古車市況は持ち直しつつあるが、一部メーカー の不正問題による影響が継続
	サービス部門	車検到来数は上期:前年増、下期:前年下回る が、年間通じては過去最大であった前年並み
自動車リサイクル事業		鉄・アルミ等の資源価格相場は緩やかながら回復軽・小型車の入庫が増加する傾向

2018年3月期計画

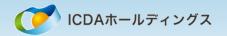


	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	前期比 (%)
売上高	24,044	26,000	108.1
売上原価	19,720	21,376	108.3
売上総利益	4,323	4,623	106.9
販売管理費	3,773	3,884	102.9
営業利益	550	738	134.2
営業外損益	△12	△38	
経常利益	538	700	130.1
親会社株主に帰属する当期純利益	351	470	134.0

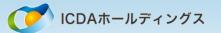
2018年3月期 事業別売上高計画



		2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	前期比 (%)	構成比 (%)
	新車部門 (国産車)	8,999	9,659	107.3	37.1
自動車販売	新車部門 (輸入車)	2,624	3,056	116.4	11.8
関連事業	中古車部門	8,527	9,413	110.3	36.2
	サービス部門	3,242	3,178	98.0	12.2
	合 計	23,405	25,319	108.1	97.4
自動車リサイクル事業		638	680	106.5	2.6
合	計	24,044	26,000	108.1	100.0



セグン	シト	施策
		残価設定クレジットを軸とした既納客販売強化と新規来店成約率の向上
	新車部門 (国産車)	オールラインナップ(軽・スモール・ミニバン・ハイブリッド・セダン)に合わせた販売の強化
		用品拡販を強化し、1台当たりの収益を改善
		店舗別各種経営指標KPIの設定と本部支援及び指導強化
	新車部門 (輸入車)	受注源泉比率を最適化して販売台数を増やす(守り=既存客代替の強化)
自動車販売		台当たり粗利向上のため個別管理を強化(高額車種への取り組み、用品拡販、等)
関連事業	中古車部門	チラシ・ネットによる新規来店誘引
		既存ユーザーに対する代替提案強化
		在庫回転率の強化
		メンテナンスパックの継続加入を促進、総加入率を底上げし、点検・車検実施率を上げる
	サービス部門	リコール対象車の回収促進
		車検防衛率を向上するための取組みを強化
<u></u>	/ 5 11	使用済自動車の安定的確保
自動車リサ	イグル争業	リユースパーツ販売の強化



今後の戦略

今後の戦略①



- ■出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- ■中期的にはM&Aを踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区 へ拡大
- ■中古車販売・買取を行う独自ブランドPOINT⑤を積極展開

三重県 (既存エリア) 三重県 (未出店エリア) 東海三県関西

広域展開

現在のステージ

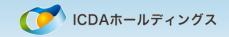
出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数 1.0台以上

今後の戦略②



- ■八野モータープール(三重県鈴鹿市)が2014年3月に完成
- ■自動車業界において問題となっている、路上積み下ろしを解消

【今後の活用方法】

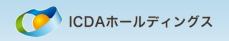
- ・P B カー (自主企画カスタマイズカー) 製作工場
- ・グループ新車・中古車デポックスセンター



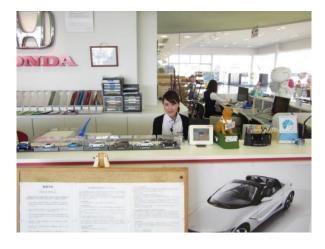


約20,000坪の敷地面積

今後の戦略③ ICDAグループの女子力活用



- ■全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに女子力を 活用
- ■女性目線を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は9店舗を予定

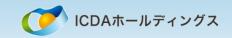
■女子サービスフロントの推移(人)
10 9 8 9
5 5 0 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度



中日新聞社より使用の許諾を得ています。無

断複製・転載を禁じます。

今後の戦略④ 亀山ライフ・ミックス・オートモール

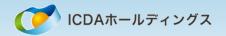


- 平成29年1月亀山ライフ・ミックス・オートモール(新車・中古車の複合商業施設)オープン
- 大型車検センターによる、高効率化の取り組みをグループ全店へ波及
- 今後自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設へ

ホンダカーズ三重北亀山長明寺店 オートテラス亀山長明寺 POINT⑤亀山店 リサイクルパーツショップ 大型車検センター







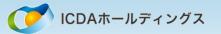
【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

配当の状況

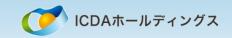
	配当性向(連結)	1株当たり年間配当金
2016年3月期	31.6%	50円
2017年3月期	29.9%	50円
2018年3月期(予想)	22.3%	50円

[※] 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。



参考資料

企業概要·沿革



社名

ICDAホールディングス株式会社

設立

2009年10月1日

本社

三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表者

代表取締役社長 向井弘光

資本金

1,161百万円

発行済株式総数

2,099,936株(自己株式64株を除く)

事業内容

自動車販売関連事業 自動車リサイクル事業

売上高

24,044百万円 (連結) (2017年3月期)

経常利益

538百万円(連結) (2017年3月期)

従業員数

349名 (連結) (2017年3月期) 1969年

ホンダ車の販売を開始

1967年

■ 三重県鈴鹿市に 向井自動車商会を創業



HONDA



Audi 2009年

■ 持株会社ICDA ホールディングス(株)を設立



2004年

オートリサイクルセンター 設立に参加



輸入車ディーラーを開始

自動車の街

VELSUS Group

「鈴鹿オートモール」を開設



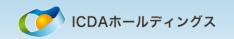






東証二部市場変更





三重県の地域別推計人口と店舗数(2016年12月現在)

地 域 名	人口比率 (%)	店舗数	範 囲
桑名	12.0	4	桑名市・いなべ市・桑名郡・員弁郡
四日市	20.8	10	四日市市·三重郡
鈴鹿•亀山	13.6	12	鈴鹿市・亀山市
津	15.6	4	津市
松阪	11.6	_	松阪市·多気郡
伊勢	13.3	_	伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡
伊賀	9.3	_	名張市・伊賀市
尾鷲	1.9	_	尾鷲市・北牟婁郡
熊野	2.0	-	熊野市·南牟婁郡
合計	100.0	30	

出店済エリア

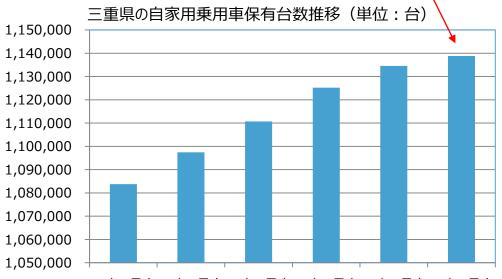
未出店エリア

出所:三重県公式HP 2016年4月1日現在、「三重県年齢別人口調査結果」より当社作成

東海三県の自家用乗用車(※)の普及台数及び保有台数(2016年3月末)

県 名	普及台数/世帯 (台)	全国順位	保有台数 (台)	全国順位
愛知	1.288	27位	4,085,701	1位
岐阜	1.596	7位	1,283,308	17位
三重	1.464	14位	1,138,776	20位

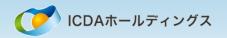
出所:一般財団法人 自動車検査登録情報協会 「自家用自動車の世帯当たり普及台数」より当社作成



11年3月末 12年3月末 13年3月末 14年3月末 15年3月末 16年3月末

出所: (社) 日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

(※) 自家用乗用車・・登録車と軽自動車の合計

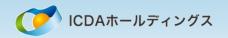


■ 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、幅広い顧客層にお車を提供することが可能

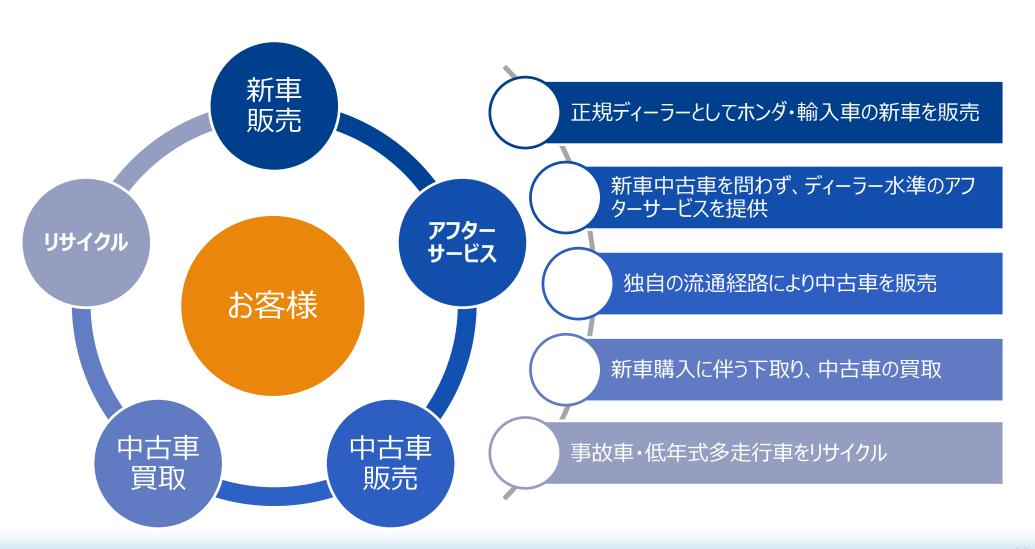
★ はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数台保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師·学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	ф.
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向の広領域ユーザー	中
☆ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	
POINT ⁵	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車が中心	低

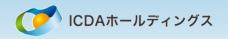
I C D A のバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



■ 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



バリューチェーンクロス・ミックスビジネスの強み

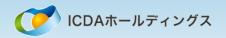


■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

- ①収益機会の増加
- ②独自の中古車流通
- ③リユースパーツの活用

④店舗開発ノウハウ

① 収益機会の増加

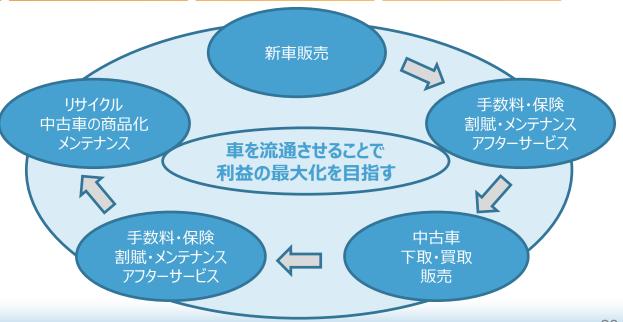


リサイクル

■ 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネス

手数料 保険·割賦 新車販売 下取 アフターサービス ICDAのバリューチェーンクロ オークション会場 ス・ミックスビジネス 手数料•保険 手数料•保険 中古車 新車販売 割賦・メンテナンス 割賦・メンテナンス 下取・買取・販売 アフターサービス アフターサービス

■ 自社グループにて新車販売・中 古車下取・買取・販売、リサイ クルを一貫して手がけることによ り1台の自動車が流通する際 の収益機会が増加



②独自の中古車流通(グループ内流通でバリューを追求)のロホールディングス

■ 車の種類・状態等に合わせ、グループ内で効率よく流通

POINT⑤と鈴鹿オートリサイクルセンターを保有することで、車を売りやすい 仕組みを構築







潤沢な中古車の確保が可能

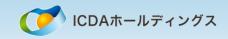








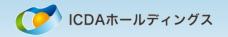
③リユースパーツの活用(顧客満足度の向上)



- 品質の高いリユースパーツを提案
- 低コストでの修理が可能となり顧客満足度が向上



④店舗開発ノウハウ



- 複数のブランドを組み合わせることでマーケットに合わせた店舗展開が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することでターゲット層が拡大し、集客力が向上
- (I) 複合型店舗

- ■新車ディーラーを核とした複合型
- ■幅広いターゲットに対応
- (Ⅱ) 小規模併設店舗
- ■POINT⑤と組合せた出店
- ■低コストのオペレーション

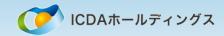
(Ⅲ)隣接型店舗

- ■商業施設との共同開発
- ■ファミリー層に対応

(IX) ライフ・ミックス・ オートモール

- ■テナントを誘致した複合施設
- ■幅広いターゲットに対応

自動車リサイクルの工程について





①車両引取り

- 輸送会社と提携
- 早期の集荷作業



②車両保管ヤード

- ●800台の平置きが可能な敷地
- 重ね置きしない丁寧な保管



③前処理棟

- ●リサイクル法を遵守した作業
- ●フロンガス回収・エアバック車上破壊



4液抜き棟

●燃料・オイル類・ラジエター液の回収



56反転機

•エンジン・足廻り部品の取り外し



⑦ライン作業場

- ●1台の車両に対し2名で作業
- ●丁寧な「手バラシ」解体



® EPリフト作業場

- ●中古部品生産の専用リフト
- ●質の高い商品を生産



10300トンのプレス

- スクラップボディのプレス
- 70cm×70cm×70cmの形にプレス



プレス出荷

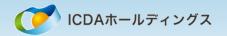
●鉄鋼メーカーに出荷



国内行き中古部品

- •1万点の在庫保管スペース
- バーコード管理された在庫

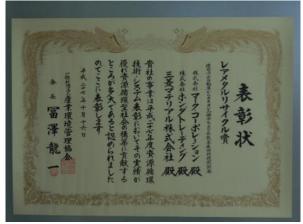
鈴鹿オートリサイクルセンター

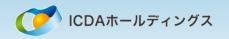


- 当社グループの㈱マーク・コーポレーションの次世代事業が、一般社団法人産業環境管理協会主催の「資源循環技術・システム表彰」にて「レアメタルリサイクル賞」を受賞しました。
- 三菱マテリアル(株)様と(株)ホンダトレーディング様と(株)マーク・コーポレーションの3社で共同で実施したNEDO事業「使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発」が評価され、この度の受賞となりました。









鈴鹿で株主をおもてなし

CDAホールディングスが優待企画



る。ヘアピンカー列上に走行っ フや裏スト ション

た普段使用する乗用車での参 0」のほか「レジェンド」した車両は、5台の「S6 と 車両に

として今後も続けていく」 、株主とともに楽した。我々もスタッフとし ルディングスでは、 、主催者であるICR - プ全体で株主をおも ルディングスは、 参加希望者も

スを自分で運転できる この企

した株主総会後の株主に対する優待企画として実施して

昨年に続いて2回目の開催となった。

サングコー 株主を対

#

掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年(2015年)7月3日 日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。



当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース (5.8 Km) を使用いたしまして、 先導車両付きマイカーランを実施させて頂きます。 当社グループ取扱車種(※1)もご用意致しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。

数々の名勝負の舞台となった鈴原サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックし てみませんか。是非、この機会に、ふるってご参加ください。

(※1) 当社グループ取扱車種については、抽選となりますので、第1希望 第2希望・第3希望を申込み用紙にご記の上、お申込み下さい。

普通自動車免許をお持ちの当社株主様 【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両 【日程】 2016年6月22日 (水)

13:30 チームオフィス (詳細は、株主総会終了後にご案内いたします。) 受付時間 14:00 ブリーフィングルーム (走行に関する事前説明会)

15:00~16:00

[余書]

FAXにてお申込み下さいませ。 ご記入頂いたご連絡先電話番号に、当社よりご連絡致します。

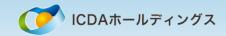
【申込先】 TCDAホールディングス株式会社 総務課 FAX/059-3 2016年6月15日 (水) 20:00 まで 【問い合わせ】 ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL:059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先 株式会社モビリティランド 鈴康サーキット 営業部営業課 TEL: 059-378-1300 (平日/9:00~17:00)



鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

スーパー耐久レースへの参戦



今季よりスーパー耐久に参戦する鈴鹿に本拠地を構えるバースレーシングプロジェクトにスポンサードを行い、社員教育の一環として、サービススタッフのレース現場の研修も行いました。モータースポーツの生の現場に触れ、憧れの現場を体験して大きな収穫を得ることができました。スーパー耐久に参戦する車両はAudi RS3 LMSで、2017年に発表された新型車両です。









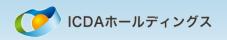
Audi RS3 LMS

シリーズ3位を獲得

■ スーパー耐久とは

全国(仙台・栃木・富士・鈴鹿・岡山・熊本)のサーキットで年間6戦行われる、日本最大の耐久レースのトップカテゴリーで、来年は富士で24時間耐久レースが開催される予定です。

三重バイオレットアイリス(女子ハンドボールチーム)



三重バイオレットアイリスが、日本リーグ参戦11年目で初のプレーオフ出場



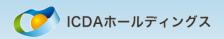
21 池原 綾香 選手



2017年3月5日、日本リーグ 最終戦でHC名古屋に勝利し、 三重バイオレットアイリスは日本 リーグ参戦11年目で初のプ レーオフ出場。

プレーオフでは惜敗したものの、 (株)ホンダ四輪販売三重北の池原綾香(7月にデンマーク1部リーグニューコビンへ移籍)は、レギュラーシーズンを含む各大会で大活躍しました。

将来の見通しに関する注意事項



本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情 報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なる ことがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正 や更新を行う義務を負うものではありません。

> 本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先 ICDAホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

TFI 0.59 - 3.81 - 5.540FAX 059 - 384 - 2881URI

http://www.icda.jp/